

一三一四番

橡つるはみのと解あらき洗きぬひ衣あやのあや怪あやしくも こときにほ着き欲ほし
き このゆふへ夕ゆふへかも

一三一五番

橘たちばなのしま島をにし居をれば 川かはとほ遠とほみ ささらさず縫ぬひし
我あがしたごろも下した衣ごろも

一三一六番

河か内ふちめ女めの 手て染そめの糸いとを 繰くり返かへし 片かた糸いとにあれ
ど 絶たえむと思おもへや

一三一七番

海わたの底そこ 沈しづく白しら玉たま 風かぜ吹かきて 海うみは荒あるとも 取と
らずは止やまじ